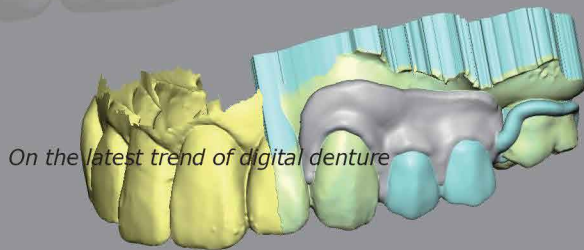


デジタルデンチャーの最新動向について

口腔内スキャナ、3Dプリンターを活用したモデルフリーパーシャルデンチャー製作



セミナー内容：

- ✓ CAD/CAMの種類と特徴
- ✓ CAD/CAMの適合の概念とコントロール
- ✓ CAD/CAMのデンチャーワークフロー
- ✓ 口腔内スキャナを利用したデンチャーワーク
- ✓ リスクマネジメントとネットワークの活用

口腔内スキャナの登場により私たちは遅かれ早かれ口腔内スキャナへの対応が求められます。実際にモデルフリーでも様々な補綴物の製作が可能になり、C & Bや総義歯はモデルフリーになりました。では、パーシャルデンチャーはどうでしょうか？

「日本のアナログ技工は世界一だ。」と聞いたことがあります。一方で「日本のデジタル歯科産業は世界的に見ると10年遅れている。」とも聞いたことがあります。健康保険制度の不備や設備機器の高額化等にともない、日本では普及・技術発展しにくい環境であることも一因なのかもしれません。特に義歯の分野においてデジタル化が進んでいないように感じています。

そこで今回は、デンチャーワークに口腔内スキャナやCAD/CAMを導入する事のメリットとリスクマネジメントについて実体験をもとにお話ししたいと思います。また、口腔内スキャナの国内での普及を想定し、世界でも例を見ないモデルフリーでのパーシャルデンチャーを製作する方法をいくつかご紹介いたします。

さらに、クラウドネットワーク (www.cad-cam-network.com)の活用方法もご紹介いたします。皆様の口腔内スキャナやCAD/CAM導入のヒントになれば幸いです。



講師：

佐藤 哲也 (さとう てつや) 先生

略歴：

2003年 日本大学歯学部附属歯科技工専門学校卒業。

2004年 歯科技工所「煌」開設。

2015年 歯科技工所「Denture staff」開設。

千葉県歯科技工士会所属

岩手県出身、千葉県香取市在住。近年、CAD/CAMデンチャーセミナー、東京都歯科技工士会セミナー、日本デジタル歯科学会、デンタルパートナーセミナーなどで講師として活躍中。アポロニア6月号に特集掲載、日本歯技にて学術掲載

